社説

人民銀行を設立す可し

蘇格蘭銀行が設立の當初保證貸付の制を實施して無資力者に資金融通の道を開きたるが爲めに大に同地の生產業の發達を促したるは今日に至るまで世人の記憶に存する所にして對人信用の効能著しきを見る可し近年我國の銀行業も大に發達して最近の調査に據れば資本金は三億二千百五十九萬圓に達したり三四年前に比すれば四倍以上の增加にして今日の如く銀行が各地方に起り互に脈絡を通じて業務を營むときは全國に於ける資金の融通を圓滑にして金利を平準に歸せしめ事業繁昌の基を開くは必然の成行なるを以て其發達甚だ喜ぶ可きが如くなれども銀行營業の實際を見るに抵當物さへ所有すれば之に就て資金の融通を求むるの便利あるに反して無抵當者は目的を達するを得ず今の銀行は單に富有者の金融機關たるのみにして世間多數の人民には何等の便宜をも與へざるものと云ふ可し畢竟銀行が對物信用に重を置くの結果にして斯る欠點ある以上は假令ひ其資本金額が增加したりとするも決して全體の發達と云ふ可らず元來一國の生產業に直接の關係あるは中產以下の人民にして此輩は固より資產に乏しく一日の勞を以て其日の食に代へ一歳月の所得を以て一歳月を支ふるの有樣なれば獨立して事業を營まんとするも或は其改良擴張を謀らんとするも之に供す可き餘財なきは勿論、他に就て借入れんとするも確實の抵當物なければ應ずる者なく稀れに應ずるものあらんとするも大抵高利貸の類にして其高利に責立てられて倒產の不幸を被むるもの多きは實際に屢々見る所なり對物信用の盛なる場合には免かれ難き弊害にして生產社會の進歩を妨ぐるあと少なからず對人信用を實行して無資力者に資金融通の便を與ふるの必要なる所以なり然るに無抵當の貸付は本來資產に乏しき輩を相手にするものにして貸と債務者の身の上に立入り果して資金を有益に使用するや否や又は之を使用するの技倆あるや否やを調査せざる可らずと雖も是等の調査は非常に困難にして實際に行届く可きに非ず今の銀行が抵當物の確否のみを判斷して一々の營業を爲すも右の事情あるが爲めにして此邊の困難は如何にす可きやと云ふに我輩は西洋諸國に行はるゝ人民銀行の[illegible]に移植して目下の急に應ずるみを[illegible]なりと考ふるものなり抑も此制度[illegible]人シユルツエ、デリツチエ氏が[illegible]めてより次第に[illegible]にて[illegible]を開くに信用の[illegible]の[illegible]合組織にて銀行を設け[illegible]記して安全の利殖を謀ると共に資金を要する場合には信用の程度に應じ無抵當にて資金の融通を求むるの仕組なり銀行は平生より組合員と密接の關係あれば其品行性質などを知るに難からざる他の一方に組合員は一旦銀行より得たる信用を失はざらんとしていよ〳〵事業に勉强して貯蓄を勵み生產業の發達を促すの効能甚だ著しく現に外國には人民銀行の業務大に整理して確實なる財產を所有し地方の公共事業を補助するものも少なからずと云ふ我國の如く斯る制度備はらずして中產以下の人民に自立の念甚だ薄く又實際獨立して事に當るの資力に乏しきときは今後經濟社會の進歩と共に貧富の懸隔いよ〳〵甚だしく資本と勞力との衝突は極端に走らざるを得ず人民銀行を設立して無資力者に資金融通の便を與へ斯る弊害を抑制するの必要甚だ明白なりと云ふ可し唯其の組織の眼目は組合員相互の信用を基礎とするものなれば一片の法律を發布したるのみにて直に其實施を望む能はず地方の有力者が此邊の必要を認め大に事に盡力せんこと我輩の切に希望する所なり

電報

（時事新報特受ロイテル電報）

○英國市場の清國外債

倫敦三月廿四日發

清國外債の英國に於ける應募濟額は僅に三割に過ぎず是れ主として政治上の形勢に由る但し概ね充分に假記名濟みなり

○キューバ干渉説

同上

華盛頓に於てはメーン遭難の事に關係なく單にキューバの事に米國の干渉するを可とする感情極めて盛なり

（以上二件前號欄外再錄）

（時事新報京城特電）

○外部大臣の兼任

京城三月二十五日午後特派員發同二十六日午前九時三十分本社着信

外部大臣閔種默氏其職を免ぜられ學部大臣趙秉稷氏外部大臣署理を命ぜられたり

○和歌山市會の協議

和歌山三月廿六日午前特發

南海鐵道の紀ノ川鐵橋架設に付本日より開きたる市會にて種々協議を凝らせり是れ其架橋は市內將來の利害に關する所大なるが爲めなり

○岐阜商業會議所

岐阜三月二十六日午前特發

當商業會議所にては本日總會を開く

○米價の騰貴

丸龜三月二十六日午前特發

米價騰貴して一升十六錢五厘となりたれば細民孰も困難を極め外國米を用ふる者頗る多し

○野田紡績の協議會

大阪三月二十五日午後特發

野田紡績會社にては本日役員補欠の臨時總會及び善後策の協議會を開く事となり岡橋治右衛門氏座長の席に就くや種々の質問出でたれば先づ協議會を開きて同氏は各株主に向ひ役員は此程より平野紡績會社へ合併の事を交渉中なるが予は寧ろ工場其他を十八萬圓、綿及び他の財產を九萬圓、都合二十七萬圓にて同會社へ賣却したる方利益ならんと思考するなりと述べたるも株主は中途に各自の見込にて役員補欠の選擧を行はんと主張したるを以て岡橋氏は到底見込なければ座長を辭退すべしと言出せしかば一時休憩を告げ只今（六時）岡橋氏と交渉中なり又同社の負債は十七萬圓なりといふ

○野田紡績の後報

大阪三月二十六日午後特發

野田紡績會社の臨時總會及び協議會は前電の如き有樣にて結局何の決する所もなく其儘流會となりたり

○阪堺鐵道臨時會

大阪三月二十六日午後特發

阪堺鐵道會社にては南海鐵道と合併の事に關し一昨日臨時總會を開きたる末來る十月一日合併する事とし又十月迄の積立金を八萬圓と見做し一株に付十圓づゝを割戻す事に決したり

○大阪紡績臨時總會

大阪三月二十五日午後特發

大阪紡績會社にては本日臨時總會を開き勸業銀行より二十五萬圓借入の件及び十二萬圓以內の見込にて前紡部器械を增設し太絲を紡出する件を議する筈なるが多分異議なく可決すべし

○卒業證書授與式

山形三月廿六日午前特發

本縣師範學校にては本日卒業證書授與式を執行せり

○縣會議員總選擧

津三月二十五日午後特發

縣制實施に付來る四月十五日を以て縣會議員三十五名の總選擧を行ふ事に確定したり

○村松代議士招待會

新潟三月二十六日午前特發

本縣第十一區選出代議士村松愛藏氏の爲め本日より田原大久保外數箇所に於て招待會を開く

○東京市會

同會は豫期の如く一昨日午後四時より東京府廳內議事堂に於て開かれたり議長は開會の旨を報じ小峰重兵衛氏起て第七號議案三原橋一ノ橋外一橋の架換工事費に付き說明を報告し比留間清十郎氏より延期說出でしも結局少數にて消滅し追て第一讀會を開く事に決し次は第十四號議案深川高橋修繕の件第九號公園明治三十一年度歳入歳出總計豫算の件は孰れも二三の質問ありたる後委員の修正通りに可決し第十號議案歳入歳出共全部調査委員の審査の通り原案に可決確定し十三號議案に移り市區改正明治三十一年度歳出歳入總計豫算は大多數にて可決し直に二讀會三讀會を開き吉田幸作氏は調査委員會に於て歳入の部の一個當八十錢とあるを七十八錢と修正し家屋稅七厘五毛とあるを八厘と修正したるは不都合なりとて原案復活の動議を提出し賛成者あり起立多數にて原案通に可決し水改第二百四十七號は異議なく可決し十五號市有地々料免除の件は廢案說を提出したるものありたれども消滅し十六號區書記定員改正の件、區長及び書記給料額改正の件は七名の調査委員を選ぶ事とし百五號、二百四十五號水道改良費中費目流用の件は孰れも異議なく可決、日本橋住吉町より同濱花町に至る道路取擴げ建議の件は西澤善七氏の說明あり結局市區を改正する他の箇所に先ちて第一番に着手したしと述べ金額に付て質問應答あり贊否兩說交々出でたるも結局建議を採用する事に決し是に於て議長は來る二十八日引續き開會する旨を報じて閉會したり

○犯罪の美術

（五十七）

[illegible]峰譯

折角捕へんとして、手薬煉ひきつゝ、入り込みたるあの家の會に、あはれ盗人は、直ぐ眼の前に見ながらも、敵が相棒の旨き加勢に、罟に入りたる椋鳥は、をしや飛たせ終りつ、無念さ喩ふるに物なくして、人目もなくば地蹈鞴ふみても、煩悶へつべしとばかり、悔やみに悔やめど、今將な之を如何にかはせん。あの上は最早や、居らんも甲斐なしとて、伴は主人に暇告げつゝ、あの家を立ち出づるなり。

左れども、出づると見せて、誠は未だ去り敢へざりき。伴は、箕村のあの家に來り居れど、疑ふあと太と深けれども、定かにその姿を認めたるにあらねば、切めては誤らぬその貌を、見据ゑ置かばやとて、彼處此處覗きめぐり、その結果いよ〳〵見出し得じと諦めたる迄、遂に屋敷を立ち去らざりき。伴は去るに臨みて、彼は門番の樣子を探るに、彼等は彼の時、坐敷の椿の面白げなるに浮かされて、孰れも窃に庭前より、隙見を試み居たれば、例

磯に蹈けさせ
見るより憤怒
「何うしたんだ
て居るのだ。」
るに、彼の男
「箕村が此方の
ら、それを見
ましやうぞ、
「何んだ、れ知
は最早遲いぞ
電報で知らせ
かないか、當
此方は唯だ怯
「彼方を出ます
御座りますが
「十二打つた。
と机の上を見
の齒にてあ
る跡に、着し

の騒動に、匆
無しや、その
るべくあらず
斯くて、明な
僻みて遂に寡
まじく、寵を
客待つ車夫の
夜は太く更け
む北風は、東
前に、捨洋燈
の寂しき街衢
思を凝らす。
利きたるもの
に、如何なれ
何は大磯にあ
地を去るに必
遂に一人の、
るよ。
徒に思ひ續け